

～集い、歌い、聴き、学ぶ～

京都アルティ声楽アンサンブルフェスティバル 2022

7.16 土

17:00 開場 17:30 開演 20:15 終演予定

「ことばとうたの幸せな関係 vol.2」
講師：名田 綾子 & 伊東 恵司

7.17 日

14:30 開場 15:00 開演 18:15 終演予定

歓迎演奏

みやこ・キッズ・ハーモニー

公募団体演奏

合唱団ボイスフィールド (混声・兵庫)

男女 .com (混声・大阪)

京都大学音楽研究会ハイマート合唱団 (混声・京都)

— 休憩 —

La La La Paz (混声・大阪)

アンサンブル ESCA (女声・京都)

— 休憩 —

招待演奏

ジュニアコーラス フェアリーズ (同声・千葉)

特別演奏

なにわコラリアーズ (男声・大阪)

京都府立府民ホール “アルティ”

主催：アルティ声楽アンサンブルフェスティバル実行委員会
創<公益財団法人京都文化財団・株式会社コングレ 共同事業体>
後援：全日本合唱連盟、京都府合唱連盟
協力：合唱団「葡萄の樹」
有限会社アールミック ジョヴァンニ・レコード事業部

思いもかけず長期に渡ったコロナの影響により、合唱の世界は大きな打撃を受けました。しかしながら、コロナ禍が私たちに伝えたことは、当たり前前の日常の大切さ、もしくは連帯のぬくもりの尊さでもあります。そして「歌う」ことそのものは、やはり世界にも生活にも人生にも不可欠なものだ、ということであったようにも思います。合唱や声楽アンサンブルは、「言葉」と「仲間」が必要であることが特徴です。このことは私たちの生きている「社会」に必要なものと同じであるように思います。ようやくコロナからの出口が見えてきましたが、ふたたび、言葉と音楽を仲間とともに共有する「声楽アンサンブル」を通して、私たちが「互いを思い、生かし合う関係」を構築していけることを夢見ています。久しぶりの祇園祭とも重なりました。京都の夏のフェスティバルをお楽しみください。

●プロフィール 伊東 恵司

児童から大人まで、あらゆる形式・ジャンルの合唱指導を行う。宝塚国際室内合唱コンクールでは総合グランプリ（20周年記念大会）、セギツィ国際合唱コンクールでは総合2位と Mauro Chiocci 特別賞を受賞、世界合唱シンポジウムでは2度にわたり（ソウル・バルセロナ）特別招待演奏団体に選出され講師も務める等、国際舞台での評価も高い。全日本合唱コンクールでも多数の金賞、特別賞を受賞し、現在は、「アルティ声楽アンサンブルフェスティバル（京都）」の主催や「大学生指導者合宿」の企画等、合唱の広がりを目指した活動に力を注いでいる。カワイ出版より「スチューデントソングブック（1・2）」「合唱エクササイズ（育成編・運営編・日本語編）」、ブレーン株式会社より「合唱のイントロダクション」を上梓。また、「みなづきみのり」のペンネームで作詩（詞）活動を展開。「合唱物語」という形態の構成も含めて多数の作曲家により合唱曲が作られている。



7.16 (土) セミナー

「ことばとうたの幸せな関係 vol.2」

講師 名田 綾子 & 伊東 恵司

●プロフィール 名田 綾子

兵庫県芦屋市出身。兵庫県立西宮高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学院修士課程修了。合唱作品「日本の四季めぐり」「フランス歌めぐり」などの歌めぐりシリーズ、「いのち」「手から、手へ」「聴くと聞こえる - 朝の音 -」（カワイ出版）、「缺」（教育芸術社）、「あなたと一緒にになにかしたい」（Edition ICOT）ほか出版多数。第2回東京国際合唱コンクール児童合唱部門の課題曲を作曲。指揮者・山田和樹氏の〈アンセム・プロジェクト〉において世界の国歌編曲を務める。こどものためのピアノ曲集「朝のスケッチ」「ピアノで世界の歌めぐり」（カワイ出版）、「サクソフォン四重奏曲より第一楽章“Footsteps”」（CAFUA MUSIC LIBRARY）など、器楽の作編曲も多く手がける。



7.17



出演団体 演奏曲目・団体紹介

**合唱団ボイスフィールド** <混声・兵庫> 指揮 天野 裕介 ピアノ 山内 愛 パーカッション 田中 宏昭

● 演奏曲

Singabahambayo	南アフリカ民謡 Victor C. Johnson 編曲
O magnum mysterium	César Alejandro Carrillo 作曲
混声合唱とピアノのための「フランス歌めぐり」から ホフマンの舟唄	堀内 敬三 訳詩 Jacques Offenbach 作曲 名田 綾子 編曲
クラリネットをこわしちゃった	石井 好子 訳詩 フランス民謡 名田 綾子 編曲
ボクはウタ	江村 美紀 作詞 信長 貴富 作曲

世界の歌めぐりをゆるやかなテーマに。南アフリカの聖歌“Singabahambayo”でリズムカルにステージの幕を開けた後は南米へ。現代ベネズエラの作曲家による“O magnum mysterium”は、救い主イエス生誕の神秘を、語りかけるようなメロディと和音で描きます。フランスに飛び、誰もが知るサティの名曲がフランスの香りを醸し出す中、独特の浮遊感で流れる舟歌。豪快にクラリネットを壊したあとは、コロナ禍に生まれた“ボクはウタ”。いま再び仲間と歌える喜びを噛み締めながらステージを締めくくります。

● プロフィール

1977年創立、芦屋市に本拠を置く混声合唱団。団名には“世界中を歌声の野原に”という願いが込められ、初心者からベテランまで老若男女約25名が互いの個性を尊重しながらのびやかに音楽を楽しんでいる。年1回の定期演奏会では、合唱劇や民族音楽、オーケストラとの共演など、多様な音楽に積極的に挑戦。また名田綾子氏、千原英喜氏、北川昇氏を始めとする多くの作曲家に新曲を委嘱。新しい合唱曲の制作にも力を注ぐ。

天野 裕介 指揮者

甲南大学卒業。ピアノを塩谷アイカ氏、合唱指導・指揮を齊田好男氏、本山秀毅氏、西牧潤氏に師事。卒業後は母校に勤務しながら合唱指揮、合唱指導、コンクール審査員等の活動を継続している。現在、合唱団ボイスフィールド、グーターコンパス、日本製鉄混声合唱団などで指揮者を務めながら、他団体への客演も行っている。

男女.com <混声・大阪> 指揮 上西 一郎 ピアノ 長尾 優里奈・渡辺 かおり

● 演奏曲

混声のための童謡名歌集「日本の四季めぐり」から 夏は来ぬ	佐佐木 信綱 作詩 小山 作之助 作曲 名田 綾子 編曲
Amazing Grace for Soprano Solo and SATB【委嘱初演】	John Newton 作詩 Traditional 北川 昇 編曲
混声合唱とピアノのための「初心のうた」から III. とむらいのあとは	木島 始 作詩 信長 貴富 作曲
NEW 東京混声合唱団愛唱歌集「島唄」から 世界の約束	谷川 俊太郎 作詩 木村 弓 作曲 若林 千春 編曲

異色のコラボ「上西一郎×男女.com」でお届けする珠玉の名曲4選。1曲目の「夏は来ぬ」は、初夏を彩る風物を歌った日本の唱歌です。2曲目の「Amazing Grace」は、世界で最も有名な讃美歌の一つ。北川昇氏による編曲作品を委嘱初演いたします。3曲目の「とむらいのあとは」は、男女.comとしては珍しい合唱曲ですが…名演の予感?! 4曲目の「世界の約束」は、ジブリ作品「ハウルの動く城」の主題歌です。

● プロフィール

2014年結成。メンバーは関西を中心に全国から集まり、初心者から音大卒業生まで幅広い。厳選したポップス編曲、合唱曲に取り組み研鑽を積んでいる。2018年に国際コンクールに出場、2019年には演奏会を開催するなど活動の幅を広げている。近年はヴォイストレーナー中坂文香氏との活動を通して、音色変化や統一した発声の作り込みにも力を入れている。また編曲を北川昇氏や田中達也氏に委嘱し、初演活動も行っている。

上西 一郎 客演指揮者

大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。声楽を横田浩和氏、指揮を松尾昌美氏、藤井宏樹氏に師事。クール シェンヌ他6団体の音楽監督。全日本合唱コンクールで金賞14回、第8回全国声楽アンサンブルコンテスト総合第1位、他受賞多数。奈良県合唱連盟理事、日本合唱指揮者協会関西支部理事、合唱人集団「音楽樹」会員。

● 演奏曲

Gaude virgo, mater Christi Josquin des Prez 作曲
 そうそうと花は燃えよ 金丸 樹一 作詩 信長 貴富 作曲

Gaude virgo, mater Christi…

中期ルネサンス期の作曲家ジョスカン・デ・プレによって作られた、キリストを身籠った聖母マリアを讃える歌です。各パートがお互いに旋律を模倣しながら独立して動き、ハーモニーを作っていきます。格式高い様式美をお楽しみください。

そうそうと花は燃えよ…

この曲は、生きることの喜び・悲しみをテーマとした魅力的な大作となっております。昨年 60 周年の節目を迎えた当団で、これまでとは違う雰囲気曲に挑戦したいと思い、選曲しました。今回は短縮版での演奏ですが、12/17(土)に開催される定期演奏会では全曲版を演奏予定です。

● プロフィール

京都大学の学生を中心に、本気の合唱に取り組んでいる混声の学生合唱団。2021 年には創設 60 周年を迎えた。演奏活動歴：1961 年春に、音楽研究会から合唱団が発足。2003 年には「春のために」(信長貴富作曲)、翌年には「はっばとりんかく」(萩京子作曲)の初演を行う。2015 年より本山秀毅先生に常任指揮者をお務め頂いている。2021 年には 37 年ぶりの関西合唱コンクールへの出場と第 60 回記念定期演奏会を開催した。

山田 陽博 指揮者

2002 年山口県山口市生まれ。2021 年山口県立山口高校卒業。高校で合唱音楽に出会う。2021 年にハイマート合唱団に入団し、今年度副指揮者に就任。現在は京都大学に在籍しており、京都・奈良で合唱活動を続けている。

La La La Paz <混声・大阪>

● 演奏曲

Sechs Lieder im Freien zu singen op. 41 [1838] Felix Mendelssohn Bartholdy 作曲
 1.Im Walde Graf v. Platen 作詩
 Drei Volkslieder Heinrich Heine 作詩
 2.Enftlieh' mit mir
 3.Es fiel ein Reif
 4.Auf ihrem Grab
 5.Mailed Ludwig Hölty 作詩
 6.Auf dem See Johann Wolfgang v. Goethe 作詩

『野外で歌う 6 つの歌 作品 41』より。

森でさえずる鳥たちを羨む 1 曲目。「あなたたちは都市や城壁から逃れる、鳥かごでため息をつく人間どもを残して」の言葉にドキリとさせられます。

続いてはハイネの民謡を用いた 3 曲。駆け落ちをした男女の向かう先には何があるのでしょうか。

春の到来を歡ぶ 5 曲目。死の予感を経て「だからこそ神が与えてくださった人生を謳歌しよう」と冒頭のテーマへ回帰します。

6 曲目はゲーテが恋人の忘却のために書いた詩。黄金の夢にふける場面からの描写はメンデルスゾーンの才を存分に感じさせます。「立ち去れ！おまえがどれほど輝こうと、ここにも愛と命はあるのだ。」

終曲は詩篇の一節から作られたモテット。後にオラトリオ「エリア」の中で、天使たちの複合唱として組み込まれました。

● プロフィール

結成 2 年目。メンバーのほとんどは普段オーケストラの専属合唱団で活動している。少人数で無伴奏作品に取り組もうと集まった。天神橋筋六丁目にある La Paz というスタジオで練習をしている。練習時は音叉一本で歌い、耳と声を育てている。昨年の京都アルティ声楽アンサンブルフェスティバルで初めて舞台上に立ち、今回が 2 度目の演奏となる。



アンサンブル ESCA <女声・京都> 指揮 梶田 慶太

● 演奏曲

夕焼け小焼け

中村 雨紅 作詩 草川 信 作曲 名田 綾子 編曲

Ubi caritas et amor

Kim André Arnesen 作曲

カラー・オブ・ザ・ウィンド

Stephen Schwartz 作詞 湯川 れい子 日本語詞 Alan Menken 作曲

にじ色の魚

村野 四郎 作詩 木下 牧子 作曲

The Time of Roses

Thomas Hood 作詩 Kevin A. Memley 作曲

できるだけいろんなジャンルを演奏したいと思い、選曲しました。

今回の講師である名田先生のおしゃれな「夕焼け小焼け」。

「Ubi caritas et amor」唯一の宗教曲ですが、ノルウェーの作曲家である K.A.Arnesen の代表曲。美しいメロディーラインとちょっと大変(?)なハーモニーが感動を呼びます。

「カラー・オブ・ザ・ウィンド」1995年ディズニー映画「ポカホンタス」のテーマ曲。

透明感のあるハーモニーで、どこか懐かしい風景がうかぶ「にじ色の魚」。

洒落っ気のきいた T.Hood の詩に、アメリカ作曲家の K.A.Memley が曲をつけ、マドリガル様式のさらっと、まるでおしゃれをしているかのような「The Time of Roses」。

● プロフィール

アンサンブル ESCA は、指揮者梶田慶太の下、「声」と「アンサンブル」の可能性を求めて、アカペラに特化した女声アンサンブルとして2021年12月に始動しました。リハーサルは月1回ですが、精度の高い集中力でグループの可能性も追求しています。Elegant (優雅に)、Smart(おしゃれに)、Cool(カッコよく)、Active (活動的に)の精神で、新しい世界を求めていきます。今後は発表の場を増やししながら、ESCA の音楽を多くの皆さんに届けていきたいと思っています。

梶田 慶太 指揮者

京都市立芸術大学大学院修了。在学中から、指揮・合唱指揮活動をはじめ。オーケストラとの共演も多い中、全国各地で講習会講師、コンクール等の審査員を務める。声楽を蔵田裕行、福島明也、指揮・合唱指揮法を田中信昭、本山秀毅らに師事。現在、合唱団 GMC 主宰、アンサンブル ESCA 代表をはじめ、数多くの合唱団を指揮・指導している。

歓迎演奏

みやこ・キッズ・ハーモニー

京都の街中に子どもの歌声を取り戻そうと創設された児童合唱団。わらべ歌を中心に、唱歌や世界の歌を歌っています。新しく創作された京都のわらべ歌もレパートリーに加え、小学生から高校生までが楽しく活動中。令和元年度京都はぐくみ憲章大賞受賞。

サポート団体

合唱団「葡萄の樹」

指揮者伊東恵司が1999年に地元京都に創設。「生活の傍らにある活動」「情感に溢れた音楽」をモットーに、教会音楽やア・カペラ作品、世界中の珍しい合唱作品や、シアターピース、朗読と演出を伴う「合唱物語」等、様々な形態の楽曲に取り組んでいる。委嘱活動にも積極的で、信長貴富、松本望、山下祐加、松波千映子各氏による作品がある。公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団「令和4年度文化芸術活性化パートナーシップ事業」パートナー団体。

● 今後の予定

2022年 8月21日(日) 広がれ! 歌の輪コンサート (令和4年度文化芸術活性化パートナーシップ事業無料公演) (京都市北文化会館)

2022年 12月 4日(日) 第24回くりすますコンサート (京都コンサートホールアンサンブルホールムラタ)

ピアノ: 松本望 ヴァイオリン: 前田妃奈

ジュニアコーラス フェアリーズ

<同声・千葉>

指揮 森本 真由美

ピアノ 白田 圭介



● 演奏曲

とどいてますか

谷川 俊太郎 作詩 新実 徳英 作曲

Replay

北村 匠海 作詞 西尾 芳彦&DISH// 作曲 田中 達也 編曲

女声合唱とピアノのための組曲「ある真夜中に」から

瀬戸内 寂聴 作詩 千原 英喜 作曲

寂庵の祈り

無伴奏女声合唱のための「フォルテは歩む」から

永井 陽子 短歌 信長 貴富 作曲

ガリレオの望遠鏡 べくべから

さみどりの風が フォルテは歩む

「とどいてますか」と「Replay」は、今年のNHK全国合唱音楽コンクール小学校の部、中学校の部の課題曲です。6月に行われたJCDA合唱指揮者協会「北とびあ合唱フェスティバル」講習会において、モデル合唱団を務めました。

「寂庵の祈り」は昨年99歳で亡くなられた瀬戸内寂聴さんの詩です。地球のすべての人が、幸福で、平和でありますようにと願いを込めて詩が綴られています。

「フォルテは歩む」は、ユニークな言葉選びと清冽な響きに富む、永井陽子さんの短歌に曲がつけられています。フェアリーズはこの曲で昨年度、東京国際合唱コンクールにおいて、グランプリと文部科学大臣賞を受賞しました。

● プロフィール

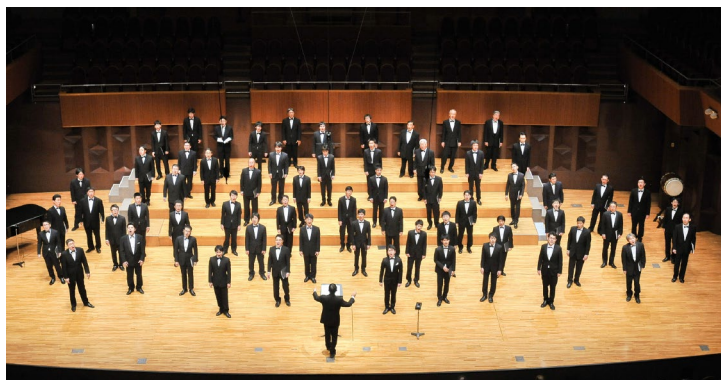
2002年千葉市、幕張新都心で結成。「透明感のある美しい歌声、躍動感のある音楽」を目標に幼稚園から高校生までのメンバーが練習に励んでいます。国内外のアーティストや合唱団との共演、コンサート、各種イベントへの参加など、活動の幅も広がっています。

2021年、第3回東京国際合唱コンクール in HARUMI 総合1位グランプリ、児童合唱の部1位、文部科学大臣賞、最優秀課題曲賞、(第1回、第2回金賞)

2022年、千葉県合唱アンサンブルコンテスト金賞(13年連続、14回目)、関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト金賞(3回目)、他多数受賞
2019年に教科書教材のレコーディングを行いました。メディアではフジTV番組、NHK-FMなどに出演しました。

森本 真由美 指揮者

島根県松江市出身。東京音楽大学声楽科卒業、千葉大学大学院教育研究科修了。合唱指揮者として、児童から大人まで幅広い世代を指導。声楽家としても、情感溢れる艶やかな歌声は定評があり、NHK-FMなどでも放送される。後進の指導にも力を入れておりクラシック・ミュージカルなどで活躍するソリストを輩出している。JCDA日本合唱指揮者協会会員、日本演奏連盟会員、千葉県合唱連盟理事。



なにわコラリアーズ

<男声・大阪>

指揮 伊東 恵司

● 演奏曲

なにわコラ Favorites !

最上川舟唄

Gentle Annie

El carbón

Betelehemu

Die Nacht

Beati mortui

Soon Ah will be Done

Dixie

Pseudo-Yoik NT

山形県民謡 清水 脩 編曲

Stephen Foster 作曲 Alice Parker and Robert Shaw 編曲

コロンビア民謡 Rito Antonio Mantilla 編曲

アフリカ民謡 Via Olatunji, Wendell Whalum 編曲

Friedrich Wilhelm Krummacher 作詩 Franz Schubert 作曲

Felix Mendelssohn Bartholdy 作曲

Spirituals William Levi Dawson 編曲

アメリカ民謡 福永 陽一郎 編曲

Jaakko Mäntyjärvi 作曲

なにわコラリアーズには「これぞ、なにわコラ！」という<世界中の男声合唱曲から選び抜いた秘伝の?愛唱歌>がいくつもあります。コンクールや演奏会で歌った曲の中から、その後も繰り返し歌っているもので「なにわコラのスピリット」がここにある!といってもよいでしょう。

曲と絡めて基礎練習や特有の合唱メソッドを確認しながら練習しますので、団員の入れ替わりがあっても、様々な演奏機会(もちろん、忘年会や団員の結婚式、余興、野外放歌も含みます)で「等しく愛唱」できるようにしています。今夜の演奏会ではそれら「なにわコラスペシャル」と言える愛唱歌の中から選りすぐりの曲を、とにかく時間の許す限り歌いたいと思います。男声合唱の無限の可能性をこれらの曲(といっても我々の愛唱する歌のごく一部ですが)の演奏を通して感じていただけると嬉しく思います。

● プロフィール

“爽やかにかっこよく”をモットーに、1993年、合唱指揮者伊東恵司によって大阪で結成された男声合唱団。出身団体や経験年数にとらわれず、おおらかに合唱を楽しみ、スタンダードな合唱曲だけでなく、親しみやすい愛唱歌、新しいレパートリーにも意欲的にチャレンジしている。第52~61回全日本合唱コンクールでは10年連続金賞受賞という驚異的な実績を残すほか、宝塚国際室内合唱コンクール第20回記念大会にて金賞グランプリ受賞。また、シンガポール、バンクーバー、台北、ソウルでの招待演奏など海外公演も多数。近年では関西だけでなく首都圏、金沢、仙台、大分、熊本、山口等、日本国内で多数の演奏会を開催、満員の聴衆を集め、それぞれの地域性を視野に入れた多彩なプログラムで高い評価を得ている。
なにわコラリアーズホームページ: <https://naniwachoraliers.web.fc2.com/>

伊東 恵司 指揮者

p.1 参照

来年開催予定

2023年

京都アルティ声楽アンサンブルフェスティバル 2023

7.15(土)16(日)

スウェーデンより、待望の来日。
この夏、あなたもきっと王者のサウンドに熱狂する！

Ringmasters

軽井沢公演

軽井沢国際合唱フェスティバル

Karuizawa International Choral Festival

軽井沢でしか聴けない、
奇跡のジョイントコンサート！

プレミアムコンサート

招待合唱団

2022
8.19(金)・20(土)・21(日)

軽井沢大賀ホールほか
軽井沢駅より徒歩7分

♪すべての公演をライブ配信♪
「オープニングセレモニー & Welcome Concert」
「はるにれコンサート」
「軽井沢国際合唱コンクール」
公募合唱企画「軽井沢フェスティバル合唱団」
「プレミアムコンサート」
「日本国際合唱作曲コンクール入賞作品演奏会」

そのほか、
声楽家・上杉清仁 Vocal クリニック
指揮者 / 作曲家・松下 耕による合唱指揮法講座
Ringmasters 体験型ワークショップ
「今年」を歌おうプロジェクト in 軽井沢
など、合唱がもっと好きになるイベント満載！



カノラ少年少女合唱団
(長野)



中央大学混声合唱こだま会
(東京)



scatola di voce
(埼玉)



みなみ野キッズシンガーズ
(東京)

